

2023年4月18日

ヘキサゴンプルズ社との北米における 商用車向け車載電池供給契約締結について

パナソニック エナジー株式会社（本社：大阪府守口市、社長執行役員：只信一生、以下 パナソニック エナジー）は、このたび、ゼロエミッションモビリティとインフラソリューションを製造する [Hexagon Purus ASA](#)（本社：ノルウェー オーレスン、CEO：Morten Holum、以下 ヘキサゴンプルズ）へ、車載用リチウムイオン電池を複数年にわたり供給する契約を締結しました。パナソニック エナジーは、ヘキサゴンプルズが独自に開発する大型車両用バッテリーシステム向けに、2026年初頭よりリチウムイオン電池を供給する予定です。ヘキサゴンプルズはバッテリーシステムをカナダのブリティッシュコロンビア州で生産する予定であり、本契約は、ヘキサゴンプルズが北米でゼロエミッションの大型車を展開するうえで新たなマイルストーンとなります。

本契約により供給されるリチウムイオン電池は、パナソニック エナジーの米国カンザス州の新工場で生産される予定であるため、米国・メキシコ・カナダ協定（USMCA）に準拠するほか、2022年に成立した米国の「インフレ抑制法（IRA）」により米国を拠点とした電池製造者が受けられる補助金の対象となる見通しです。

ヘキサゴンプルズのCEOである Morten Holum 氏は、「電池のサプライチェーンを確保することは当社にとって重要であり、例えば、最近発表した[日野モーターズセールス U.S.A.株式会社との米国市場向けバッテリー電気式（BEV）大型商用車を生産する販売契約](#)など、顧客との契約を実行するためです。パナソニック エナジーは電池の供給によって電気自動車を市場に普及させてきたパイオニアであり、その信頼性やイノベーションを重視する姿勢を含め、ヘキサゴンプルズにとって理想的なパートナーです」と述べています。

ヘキサゴンプルズの上級副社長である Todd Sloan 氏は、「私たちは、今回のパナソニック エナジーとの画期的な契約を発表することに大きな喜びを感じています。本契約により、北米における当社の優れたバッテリーシステムと車両インテグレーションの提供を一層確かなものにできます」と語り、さらに「今回の契約は、当社の技術力の高さが評価されたことを示すものです。そして、当社顧客に高品質のソリューションを届けるための競争力あるプラットフォームを提供してくれることでしょう」と述べました。

パナソニック エナジー社長執行役員の只信一生は、「ゼロエミッションのモビリティは、今後も重要度が高まり続けるでしょう。ヘキサゴンプルズとの契約は、革新的なバッテリー技術を提供し続ける当社のグローバル戦略において重要な一歩となります。ゼロエミッションの大型輸送向けバッテリーシステムの分野でトップクラスの技術を有するヘキサゴンプルズと提携することで、当社はリチウムイオン電池業界の成長を牽引し、ゼロエミッションモビリティへの移行を加速していきます」と述べています。

以上